

嘔吐物処理をマスターしましょう！

資料 3

1 嘔吐物処理の準備

1

職員に応援を求め、役割を振り分ける。
(第1発見者が嘔吐物処理を担当する場合)
①周囲にいる人を移動させる人
②嘔吐した者への対応をする人
③換気をする人
④物品の準備をする人
⑤嘔吐した人が歩いた通路の消毒をする人



物品の準備

使い捨ての手袋(1人2組)・マスク・エプロン、タオル、ペーパータオル、ビニール袋4枚、バケツ2個、水(2ℓペットボトル)2本、塩素系漂白剤、手指消毒剤

2



使い捨て手袋とマスクを着用し、汚染箇所をペーパータオルで覆う。
※嘔吐物が乾燥して舞い上がることを防ぐため。

バケツにはビニール袋を二重にかけ、ペットボトルには0.1%濃度の消毒液を作る。

2 嘔吐物処理

3



二枚目の使い捨て手袋とエプロンを着用する。

4



清潔区域に物品を並べる。

5



ペーパータオルで嘔吐物を中心部に向かってしっかり取り除き、ビニール袋に入れる。手や膝、エプロン、ズボンの裾を床につけないように注意する。

6



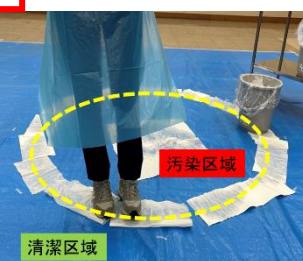
濡らしたタオルで、汚染箇所とその周辺を外側から中心部へ拭く。拭き取り後、タオル、外側手袋の順にビニール袋に入れ、袋の口は静かにしぼる。

7



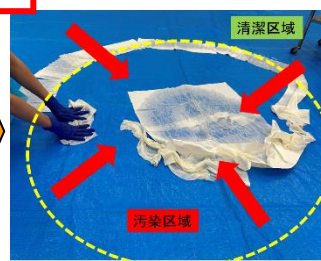
嘔吐物が付着したところと嘔吐物から半径約2mの範囲をペーパータオル等で覆い、消毒液をかける。

8



足裏とバケツの底を消毒し、清潔区域に出る。

9



外側から中心部に向かって同一方向に拭き取りながら床の消毒を行う。拭き取り後、ペーパータオルはビニール袋へ入れる。

10



嘔吐物から半径約2mの範囲を外側から中心部へタオルで水拭きする。拭き取り後、タオルはビニール袋へ入れる。

カーペット等の場合は10分程度消毒(又は熱処理)をする。
※色落ちに注意！

3 処理後

11

汚染面に触れないように手袋→エプロン→マスクの順に外してビニール袋に入れ、袋の口は静かにしぼる。

12

ごみの廃棄やバケツの消毒等片づけをする。

13



液体石けんで手洗いをする。衣類が汚染されている場合は着替えも行う。

最後に物品の補充も忘れずに！

※この方法は一例です。

令和6年10月村山保健所作成